

第5講

だるまさんはころばなかった (2021年度第4問)
—なぜ子爵高橋是清は隠居して衆議院議員総選挙選挙に立候補したのか—

1869年に、公卿・諸侯の称を廃止し、華族と称す、として誕生した華族は、1947年に廃止されるまで、士族や平民とは区別された存在であった。それに関する次の(1)～(4)の文章を読んで、下記の設問A・Bに答えなさい。

(1) 公爵に叙せらるべき者

- 一、親王諸王より臣位に列せらるる者
- 一、旧摂家
- 一、徳川宗家
- 一、国家に偉勳ある者

(「華族叙爵内規」1884年より抜粋)

(2) 第34条 貴族院は貴族院令の定むる所に依り皇族華族及勅任せられたる議員を以て組織す

(「大日本帝国憲法」1889年)

(3) 第36条 何人も同時に両議院の議員たることを得ず

(「大日本帝国憲法」1889年)

(4) 第12条 華族の戸主は選挙権及被選挙権を有せず

(「改正衆議院議員選挙法」1900年)

設問

A 1884年に制定された華族令は、公・侯・伯・子・男の5つの爵位を設けただけでなく、華族の構成に大きな変化をもたらした。その変化はどのようなものであり、またそれはどのような意図でなされたのか。3行(90字)以内で述べなさい。

B 1924年に発足した清浦奎吾内閣は、衆議院を解散したため、衆議院議員総選挙が行われた。これに対し、立憲政友会の総裁で、子爵であった高橋是清は、隠居をして、貴族院議員を辞職した上で、衆議院議員総選挙に立候補した。高橋がこうした行動をとったのはどうしてか。この時期の国内政治の状況にふれながら、3行(90字)以内で述べなさい。

解いてみましょう (第5講) Aについて

1 問われている (求められている) ことを確認する。

ア (ア) が (イ) にもたらした (ウ) を書く。

イ (ア) の (エ) を書く。

ウ 3行 (90字) 以内で書く。

2 資料と教科書 (山川出版社『詳説日本史B』) の内容とを照らし合わせる。
関係する教科書のページと内容は、

教科書の 282 ページの 11 行目～283 ページの 1 行目



伊藤はベルリン大学のグナイスト、ウィーン大学のシュタインらから主としてドイツ流の憲法理論を学び、翌年に帰国して憲法制定・国会開設の準備を進めた。

まず 1884 (明治 17) 年にまず 1884 (明治 17) 年に華族令 (注) を定め、華族の範囲を広げて、旧上層公家・大名以外からも国家に功績のあったものが華族になれるようにして、将来の上院 (貴族院) の土台をつくった。

(注) 華族を公・侯・伯・子・男の 5 爵にわけ、内規でそのおのこの資格を詳細に定めた。

教科書の 284 ページの 17 行目～21 行目



帝国議会は、対等の権限をもつ貴族院と衆議院からなっていたので、衆議院の立法権行使は、華族や勅選議員などからなる貴族院の存在によって実質的に制限されていた。しかし、多くの制限はあっても、議会の同意がなければ予算や法律は成立しなかったから、政府は議会 (とくに衆議院) とのあいだで妥協をはかるようになり、政党の政治的影響力がしだいに増大していった。

3 与えられた資料をもとに作成した「東大チャート」を解く。

次のページに「東大チャート」があります。上記の空欄に当てはまる語句も記されています。

東大チャート 「華族令の意図と、もたらした変化」 (2021 年度第 4 問設問 A)
 ([] へ、ほぼ抜き出して入れる。)

求められていることは
 ア (7) 華族令 が (イ) 華族の構成 に
 もたらした (ウ) 変化 を書く。
 イ (7) 華族令 の (エ) 意図 を書く。

【教科書の記述】
 伊藤はベルリン大学のグナイスト、ウ
 ーン大学のシュタインらから主として
 ドイツ流の憲法理論を学び、翌年に帰国
 して憲法制定・国会開設の準備を進め
 た。
 まず 1884(明治 17)年にまず 1884(明治
 17)年に華族令(注)を定め、華族の範囲を
 広げて、旧上層公家・大名以外からも国
 家に功績のあったものが華族になれるよ
 うにして、将来の上院(貴族院)の土台を
 つくった。ついで 1885(明治 18)年には太
 政官制を廃して内閣制度を制定した。
 (PP. 282. L11~283. L1)

- (1) 公爵に叙せらるべき者
 一、親王諸王より臣位に列せらるる者
 一、旧摂家
 一、徳川宗家
 一、国家に偉勲ある者。
- (2) 第 34 条 貴族院は貴族院令の定むる
 所に依り皇族華族及勅任せられたる議員
 を以て組織す

【教科書の記述】
 帝国議会は、対等の権限をもつ貴族院と
 衆議院からなっていたので、衆議院の立法
 権行使は、華族や勅選議員などからなる貴
 族院の存在によって実質的に制限されて
 いた。しかし、多くの制限はあっても、議
 会の同意がなければ予算や法律は成立し
 なかったから、政府は議会(とくに衆議院)
 とのあいだで妥協をはかるようになり、政
 党の政治的影響力がしだいに増大してい
 った。(PP. 284. L17~21)

① [] ・ ② [] の準備を進める政
 府は、(7) 華族令 を定め、③ [] を
 広げて ④ [] ・ ⑤ [] 以外から
 も ⑥ [] が華族になれるよ
 うにした。
 それは、帝国議会は対等の権限をもつ
 ⑦ [] と ⑧ [] からなってい
 たので、⑧ [] の ⑨ [] 行使を
 ⑩ [] するため、③ [] を広げ
 て、⑦ [] の ⑪ [] をつくっ
 た。

抜き出したものをまとめる

① ・ ② の準備を進める政府は、⑦ を定めて
③ を広げ、④ ・ ⑤ 以外からも
⑥ が華族になれるようにして、⑧ の ⑨ 行
使を ⑩ する ⑦ の ⑪ をつくった。



4 90字に要約する。

解いてみましょう (第5講) Bについて

1 問われている (求められている) ことを確認する。

ア 子爵であった高橋是清が、(ア) をして (イ) を辞職した上で (ウ) 総選挙に立候補した理由を書く。

イ この時期の国内政治の状況 = (エ) ことで (ウ) 総選挙が行われたことにふれながら書く。

ウ 3行 (90字) 以内で書く。

2 関係する教科書のページと内容は、

教科書の 332 ページの 2 ~ 8 行目



1924(大正 13)年、松方正義と西園寺公望の二人の元老は、政党と距離をおく人物を選ぶため、枢密院議長であった清浦奎吾を首相に推した。清浦が陸相と海相を除く全閣僚を貴族院から選出すると、憲政会・立憲政友会・革新倶楽部の3党は、超然内閣の出現であるとして、憲政擁護運動をおこした(第二次護憲運動)。これに対し清浦内閣は、立憲政友会の高橋是清総裁を批判する勢力によって組織された政友本党を味方につけ、議会を解散して総選挙にのぞんだが、結果は護憲三派の圧勝に終わった。

3 与えられた資料と教科書の記述から抜き出して作成した「東大チャート」を解く。

次のページに「東大チャート」があります。上記の空欄に当てはまる語句も記されています。

東大チャート「高橋是清が衆議院議員総選挙選挙に立候補した理由」(2021年度第4問設問B)
 (には抜き出して入れる。 には考えて決めゼリフを入れる。)

求められていることは
 ア 子爵であった高橋是清が、(ア) 隠居
 して (イ) 貴族院議員 を辞職した上で
 (ウ) 衆議院議員 総選挙に立候補した理由
 を書く。
 イ (エ) 清浦奎吾内閣が、衆議院を解散した
 ことで (ウ) 衆議院議員 総選挙が行われ
 たことにふれながら書く。

(4) 第12条 華族の戸主は選挙権及被選挙権を有せず
 (3) 第36条 何人も同時に両議院の議員たることを得ず

【教科書の記述】
 1924(大正13)年、松方正義と西園寺公望の二人の元老は、政党と距離をおく人物を選ぶため、枢密院議長であった清浦奎吾を首相に推した。清浦が陸相と海相を除く全閣僚を貴族院から選出すると、憲政会・立憲政友会・革新倶楽部の3党は、超然内閣の出現であるとして、憲政擁護運動をおこした(第二次護憲運動)。これに対し清浦内閣は、立憲政友会の高橋是清総裁を批判する勢力によって組織された政友本党を味方につけ、議院を解散して総選挙にのぞんだが、結果は護憲三派の圧勝に終わった。(P332.L2~8)

(1) 子爵であった高橋是清が (ア) 隠居 した理由
 ① がなかったから
 (2) (イ) 貴族院議員 を辞職した理由
 (イ) 貴族院議員 は (ウ) 衆議院議員 総選挙に立候補できなかったため。
 高橋は自身が (ウ) 衆議院議員 総選挙に立候補できない ② 。

(3) (エ) 清浦奎吾内閣が、衆議院を解散した 理由
 高橋是清を ③ とする ④ ・憲政会・革新倶楽部が、(イ) 貴族院議員 中心の清浦内閣を ⑤ する ⑥ をおこした。
 (4) (ウ) 衆議院議員 総選挙の状況
 高橋是清 ③ を ⑤ する勢力が政友本党を組織して、④ は ⑦ した。
 清浦内閣は政友本党を味方につけて議院を解散し、
 (ウ) 衆議院議員 総選挙が行われた。

高橋は ③ 自ら (ウ) 衆議院議員 総選挙に立候補することで、⑦ した ④ の ⑧ と ⑨ を図った。

抜き出したものをまとめる

子爵であった高橋是清は、(ア) 隠居 して (イ) 貴族院議員 を辞職することで、(ウ) 衆議院議員 総選挙に立候補できる (2) 。

高橋是清を (3) とする (4) ・憲政会・革新倶楽部は、(イ) 貴族院議員 中心の清浦内閣を (5) する (6) をおこした。

この高橋是清 (3) を (5) する勢力が政友本党を組織し、(4) は (7) した。清浦内閣はこの政友本党を味方につけて議会を解散し、(ウ) 衆議院議員 選

挙が行われた。高橋は (3) 自ら (ウ) 衆議院議員 総選挙に立候補することで、

(7) した (4) の (8) と (9) を図った。

4 90字に要約する。

今回、問題を解くことで学んだこと